

# グラニセトロン点滴静注液3mgバッグ「サワイ」

効能・効果が先発品と一部異なります

## 自社品が有していない効能・効果(下線部分)

抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与及び放射線照射に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)

術後の消化器症状(悪心、嘔吐)

用法・用量が先発品と一部異なります

## 自社品が有していない用法・用量(下線部分)

抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)

成人:通常、成人にはグラニセトロンとして $40\mu\text{g}/\text{kg}$ を1日1回点滴静注する。  
なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、 $40\mu\text{g}/\text{kg}$ を1回追加投与できる。

小児:通常、小児にはグラニセトロンとして $40\mu\text{g}/\text{kg}$ を1日1回点滴静注する。  
なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、 $40\mu\text{g}/\text{kg}$ を1回追加投与できる。

放射線照射に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)

通常、成人にはグラニセトロンとして1回 $40\mu\text{g}/\text{kg}$ を点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日2回投与までとする。

術後の消化器症状(悪心、嘔吐)

通常、成人にはグラニセトロンとして1回1mgを点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日3mgまでとする。